

百日咳

症状

- ・百日咳菌による感染症で、特有な発作性の連続する咳込みを特徴とします。
- ・最初は普通の風邪症状から始まり、1～2週間のうちに次第に咳が多くなり、顔を真っ赤に激しく咳込むようになります。
- ・この特有な発作性の連続する咳込みは2～3週間位持続します。
- ・回復後も風邪などの刺激で特有な咳込み発作が出現することがあります。
- ・通常発熱はないか軽微です。乳児期では激しい咳込みのために呼吸ができなくなることもあります。
- ・また、新生児～3カ月未満の乳児では典型的な咳発作にならずに、無呼吸、嘔吐、けいれんなどの症状が主体となる場合もあり注意が必要です。

治療

- ・百日咳に有効な抗菌剤と咳止めを内服します。
- ・無呼吸などの重症時は入院治療が必要となります。

家庭で注意すること

- ・咳嗽に伴う嘔吐の予防のために、1回量のミルクや食事は少量頻回に、また消化の良いものを与えましょう。
- ・気道の刺激予防のために、たばこの煙や温度変化などを避けましょう。
- ・咳込みが軽くなり、食欲や機嫌が改善すれば入浴は可能です。
- ・新生児期～乳児期は重症になりやすいのでうつさないように注意しましょう！

登園・登校のめやす

- ・特有の咳が消失するまで(2～3週間以上かかると考えてください)
- ・または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで休ませてください。

予防

- ・四種混合ワクチンが効果があります。
- ・適応年齢(生後3ヶ月から接種可能)になったら積極的に接種いたしましょう。

急患診療センターを受診するめやす

- ・咳込み発作が激しく息が止まりそうになる時
- ・咳込みでの嘔吐が頻繁な時
- ・発熱が続く時

新潟市急患診療センター（電話025-246-1199）
<http://www.niigata-er.org>